

報告 町内会・自治会の活性化を

自民党 川崎市議会議員 かぶらき茂哉

12月の定例議会で「川崎市町内会・自治会の活動の活性化に関する条例案」が可決されました。この条例は、地域コミュニティの構築で重要な役割を担っている町内会・自治会への加入を促進し、活性化を図るのが主な目的です。長年、町

内会に関わる私としては、この取り組みに大きな期待をしております。

二テイがあつてこそ初めて機能するものであり、町内会・自治会がその責務を担

ています。また、国が進

また町内会・自治会組織をさらに活用していくことも必要と考えております。

一生懸命に区の課題について話し合い、改善のため働いて下さっていることは敬意を払うべきことですが、厳しい市の財政などを考えると町内会・自治会組織を活用するのも1つの方法ではないかと考えております。

東日本大震災以降、町内会・自治会の役割は、大きなものとなっております。今や防災のテーマとなつて

「自助・共助・公助」の観

点から今後、さらに重要性が増していくものと確信しております。

また町内会・自治会組織をさらに活用していくことも必要と考えております。

若い世代をはじめ、住民の生の意見を多く集めることができ、よりその地域に密着した活動が可能になると思います。



S22 川崎市幸区小向に生まれる
H7 川崎市議会議員選挙に初当選、現在5期目
H19.5月 川崎市議会議長
10月 全国市議会議長会国会対策委員長

市政へのご意見・ご要望はホームページ

かぶらき茂哉

検索

町内会・自治会の加入率は約72%で、市内では一番高いのですが、それでも10人に約3人は未加入です。新規移転者はもちろん、現在の在住者の方にも、いかに魅力や重要性を伝え、加入していただける環境を作っていくかが今後の課題です。

「まちづくり」においてカギを握るのは、町内会・自治会の活性化です。地域住民が暮らしやすいと思える地域社会の構築に向けて、今後も尽力して参ります。